



まだ制度を知らない業者さんも 住宅リフォーム補助で総工事費5億円が地元へ

住宅リフォーム促進補助金制度が始まって3年目を迎えるようになっています。この事業は、民商（民主商工会）や日本共産党米原市議団が長年要望を繰り返して、2年前にやっと実現しました。国においては、「地方創生」「アベノミクス」の地方への波及」など、統一地方選挙をにらんで声高に叫んでいます。しかし消費税の増税や社会保障の削減、年金切り下げなどによって、消費を冷え込ませ、地方を衰退に追いやっているのは、自民党政治です。このような中で、住宅リフォーム制度は全国自治体の9割にあたる1559自治体で実施されており、地域経済を支える重要な制度と認識されています。米原市においては3年を過ぎて見直しを行うとされていますが、拡大こそすれ、縮小はあり得ないと思います。

住宅リフォームの実績

	2013年度	2014年度	計
件数	118	120	238
総工事費	2.0億円	3.0億円	5.0億円
補助金額	1,471万円	1,678万円	3,149万円
予算額	1,500万円	1,800万円	

住宅リフォーム補助金 どのような制度ですか

◎市内の施工業者を利用し、工事経費が20万円以上の工事。経費の10%に相当する額で限度額は20万円。

◎申込窓口は、商工観光課（伊吹庁舎・58-2227）。事業の概要や事前申込書などは、各庁舎自治振興課で配布しています。また、施工業者が代理申請することも可能です。

事前申し込みが必要

◎事前申込書の受付期間
平成27年5月29日（金曜日）
◎本年度予算は1800万円。

対象となる人

◎次の要件の全てを満たす人が対象となります。
○市内に自ら所有している住宅に居住している人
○市内に1年以上居住し、住民基本台帳に記載されている人
○他の条件あり。

業者さんの声

米原市下多良で外壁塗装店を営んでいる片倉さん。

「僕のまわりでは、制度を知らない業者がまだいる。市は3年だったので、見直すと言っているが、リフォーム需要はまだまだある。続けてほしい。申込み期限も早く営業がせわしない。手続きも伊吹庁舎だけではなく、どの庁舎でも受け付けてほしい。」片倉さんのホームページ。
<http://katakurapaint.com/>

プレミアム商品券

7月4日発売

国が推奨している地域創生の切り札(?)プレミアム商品券の米原版概要が明らかになっています。1万円で1万3千円分。だいたい自治体が1万2千円だからチョットお得感があります。子育て世代には人数により8千円まで加算。だいたいお得。ぜひ地元商店の活性化に役立ててほしい。1万3千円のうち8千円は地元商店。5千円は大型店でも利用可能となっています。ぜひ皆さん、買って地元商店で利用してください。でも本当に持続的な地元商店の振興・発展につながるのですかね。一過性にならないことを祈ります。やはり消費税を上げないことの方が、一番いいと思うのですが。

雑感

プレミアム商品券の記事が雑感のようになってしまいました。プレミアム商品券の発行件数が15,000冊ですので、地元商店分は8,000冊です。全部使って経済効果は1億2千万円。補助金は3,000円で4千5百万円。住宅リフォーム補助金の方が効果あるような気がしてきました。ただ補助金の出どころは違いますが、地元商店も工夫をして頑張ってください。市内の旅行業者が夏の子ども会旅行でプレミアム商品券の活用を提案してきました。